

佐藤直紀

&
大嶋義実

ゴールデンデュオ・リサイタル

佐藤直紀
(フルート)

大嶋義実
(フルート)

Naoki SATO & Yoshimi OSHIMA Recital

2本の純金フルートが紡ぐ《プラハの思い出》

▶ Program

B.スメタナ：モルダウー2本のフルートとピアノのための(佐藤直紀編)ー

P.ヴラニツキー：フルート二重奏曲ニ長調 作品II-1

F.&K.ドップラー：プラハの思い出

十河陽一：双獅幻想(30周年記念委嘱初演作品) ほか

コンサート終了後、京都市立芸術大学在学学生に対するマスタークラスを開催

【時間】16:30～ 【曲目】佐藤直紀 ヤナーチェク:木管六重奏曲「青春」
大嶋義実 マルチヌー:ソナタ

※コンサートに来場された方は、引き続き聴講可能です(マスタークラス聴講のみの申込みは不可)。



笠原 純子
(ピアノ)

2026.8.8 (土) 14:00 開演 (13:00 開場) 入場無料

京都市立芸術大学
堀場信吉記念ホール

〒600-8601 京都市下京区下之町57-1 (A棟)

- 市バス「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ
- 地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分
- 京阪電車「七条」駅下車 徒歩7分

※お出かけの際は、便利な市バス・地下鉄をご利用ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催：京都・プラハ姉妹都市提携30周年記念事業実行委員会

共催：京都市立芸術大学、京都市

プラハ風景写真 ©CzechTourism / Michal Vitásek

京都・プラハ姉妹都市提携30周年を記念して、
全席ご招待いたします。(要申込・全席自由)

申込方法 京都いつでもコールへ電話、FAXまたは申込フォームにて
お申し込みください。

TEL：075-661-3755

FAX：075-661-5855

申込フォーム：右の二次元コードから



必要事項 郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、同伴者数(2名まで)

申込期間 ■第1次募集(抽選) 令和8年 5月30日(土)～6月28日(日)

※第1次募集は、京都市内に居住、通勤または通学の方のみを対象とさせていただきます。
※7月上旬に、当落のお知らせはがきを発送します。

■第2次募集(先着) 令和8年 7月4日(土)～7月20日(月・祝)

※第1次募集で定員に達した場合、第2次募集は実施しませんのでご注意ください。
※7月下旬にはがきを発送します。

師弟の織りなす 煌めきのサウンドが 京の夏を彩る!!

「いずれ卒業生からチェコ・フィル首席奏者が誕生するでしょう」

こんな予言があったなら、戦後間もなく京都市立音楽短期大学(京都市立芸術大学音楽学部の前身)の設立を決断した京都市長(当時)高山義三、初代学長堀場信吉はそれを信じただろうか。それは夢語りにもならなかったはずだ。

しかし開学から60余年、語られなかった夢は現実のものとなった。2011年京都市立芸術大学を卒業した佐藤直紀がその人だ。

佐藤は幼少期より母に連れられ、当時、群馬交響楽団第一フルート奏者の任にあった大嶋義実の行う演奏会のほとんどに顔を出していたという。長じて自らも楽器を手にし、京都市立芸術大学教員となっていた大嶋の後を追うように同大学に進学。

その大嶋は1981年京都市立芸術大学卒業。その後、チェコのオーケストラ初の日本人首席フルート奏者としてプラハ放送交響楽団に在籍。帰国後もソリストとして「プラハの春国際音楽祭」に招かれるなど、同国との絆は今も途切れることなく続いている。

《黄金のプラハ》と称される街に響く、京都に育てられた奏者二人の愛器は共にGOLD!

京都・プラハ姉妹都市提携30周年を記念し、師弟の織りなす煌めきのサウンドが京の夏を彩る。

幼い佐藤が故郷でその旋律を耳にした京都出身の作曲家 十河陽一による30周年記念委嘱作品『双獅幻想』も初演される。

profile 出演者プロフィール



佐藤 直紀 (フルート) Naoki SAITO - Flute

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 首席フルート奏者

群馬県安中市生まれ。11歳よりフルートを始め、京都市立芸術大学にて大嶋義実、ドイツ・ハンブルク音楽院にてヴァルドルフ・ケネン、ハンブルク音楽大学にてハンス=ウド・ハインツマンの各氏に師事。

その後、スウェーデンのヨンショーピン・シンフォニエッタ、同じくスウェーデンのノルランズ・オペラにて客演奏者を務めた後、2019年よりチェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者に就任。ソリストとしてチェコ国内のオーケストラと共演するほか、「笛僧」という名前で編曲活動もおこなっている。現在「季刊ムラマツ」にて、フルート奏者列伝『ドイツ・フルート奏者の系譜』を執筆、連載中。



大嶋 義実 (フルート) Yoshimi OSHIMA - Flute

京都市立芸術大学名誉教授
元プラハ放送交響楽団首席フルート奏者

京都市立芸術大学卒業後、ウィーン国立音大を最優秀で卒業。プラハ放送交響楽団首席フルート奏者、群馬交響楽団第一フルート奏者を歴任後、京都市立芸術大学専任教員として着任。2020年-2024年同大学副学長・理事を務め現在名誉教授。

日本音楽コンクール他、内外のコンクールに入賞入選。ソリストとして国内はもとよりヨーロッパ各地、アジア諸都市で毎年公演を行なうほか、プラハ響、群響、京響をはじめ数多くのオーケストラと協演。13枚のCDをリリース。2008年発売の《モーツァルト・フルート四重奏、協奏曲集》は「モーツァルト信奉者たちを統合するための全てを備えている」と仏ディアパソン誌上で評される等、日本、海外の主要音楽誌において高い評価を得た。著書『演奏家が語る音楽の哲学』が第1回音楽本大賞読者賞を受賞。他に『音楽力が高まる17の「なに?」』も好評を博し、音楽之友社版シュールホフ、マルチヌー「フルート・ソナタ」楽譜解説は作品のみならず両作曲家に関する貴重な邦文資料となっている。



笠原 純子 (ピアノ) Junko KASAHARA - Piano

国際ロータリー財団奨学生として渡欧後、ドイツ国立ザール音大大学院・国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。ABC新人コンサートオーディション、ルービンシュタイン国際ピアノコンクール他入賞。ヨーロッパ、アメリカ、南米、ロシア、イスラエル、日本各地でのリサイタルの他、欧州各地の国際音楽祭に度々出演。ベルリン・フィルのコンサートマスターや首席奏者、ザグレブ弦楽

四重奏団、チェコ・フィル弦楽三重奏団、同四重奏団、同六重奏団、ゴラン・コンチャル、イルジー・ヴォディチュカラとの室内楽、サンクトペテルブルク国立カペラ交響楽団、ザグレブ・フィル等、国内外のオーケストラとの協演も数多い。現在、大阪芸術大学、京都女子大学非常勤講師をつとめる他、IMAマエストロを主宰、三十年来のアレクサンダー・テクニク研鑽を活かした演奏指導を行い、反響を得ている。ラプトサウンドより5枚のCDをリリース、好評を博す。